



在住外国人と共に地域振興の コーディネート

財団法人群馬県観光国際協会

外国人が集まる場所には、外国人を対象としたお店が増えます。外国人を対象としたお店が増えると、その地区は、日本でありながら異国情緒漂う街になることがあります。そういった変化を肯定的に受け入れて、地域振興に活用してみるのはいかがでしょうか。今回は、群馬県で観光事業の一環として行われている施策についてご紹介します。

財団法人群馬県観光国際協会の設立

財団法人群馬県観光国際協会は、2007年4月1日、本県の公社事業団見直し統廃合により、財団法人群馬県国際交流協会が母体となり、社団法人群馬県観光協会・財団法人群馬県観光開発公社・群馬県温泉旅館協同組合が統合され、新たな事業展開を歩み始めました。

当協会の事業としては、国際化推進事業・観光推進事業・宿泊斡旋事業・観光施設事業の大きな4本柱で事業展開しています。

そのような中で、国際化推進事業の主要事業として、在住外国人対策がありますが、これについては、財団法人群馬県国際交流協会が発足当初から一貫継続して実施してきた事業です。

在住外国人との交流事業を含め、さまざまな事業を展開してきた中で、在住外国人の抱える諸問題解決には、群馬弁護士会を始めとする、諸官庁の協力をいただきながら、「外国人のための法律相談」を開催するとともに、言葉の壁をなくす手段として、外国人の日本語教室指導者養成など、在住外国人対策の諸事業を永年に亘り展開してきたところです。

「はばたけ群馬観光博覧会」の実施

本県の在住外国人登録者数は、平成21年12月末現在、45,148名で群馬県総人口の2.3%を占め、そのうち、ブラジル人が最も多く、15,258名で本県外国人登録者数の33.8%を占める状況です。

そうしたブラジル人が集住する群馬県邑楽郡大泉町では、2010年5月末現在、人口41,262名のうち、外国人登録者数が6,309名で町人口の15%を占め、その外国人登録者数のうち、ブラジル人が4,548名で72%を占め、本邦でも、有数のブラジル人集住地区となっています。

そうしたことから、街並みもブラジルの母国語であるポルトガル語の看板が軒を並べ、一部の地区では、さながらリトルブラジルの様相を呈しています。

本県では、2011年7～9月の3カ月間にわたり、北海道から九州までのJR全社が本県を集中的に宣伝する国内最大規模の誘客宣伝キャンペーン「群馬デスティネーションキャンペーン（以下「群馬DC」）」が実施されます。

このことに伴い、当協会では、県内各地域の振興と経済活性化を目的にするとともに、「群馬DC」で来県する観光客の受け皿として、「はばたけ群馬観光博覧会」と題した群馬県内発着の着地型ツアーを2009年4月より、観光施策の一環として実施しています。

ツアー造成には、県内全市町村の協力を仰ぎ、事業開始当初から1年余りの間に116コース258ツアーを企画し、2010年3月末現在で46ツアー682名の実績を得たところです。

人気の「ブラジル横町街歩き 日帰りの旅」(大泉町)

その中でも、ブラジル人集住地区となっている大泉町で実施する「ブラジル横町街歩き日帰りの旅」は、人気のツアーとなっており、2010年3月末までに3回実施し、69名の実績を得ています。

お客様の層としては、40代～60代の女性やご夫婦が多く、参加者からのアンケートでは、食事やサンバショー、ブラジル文化体験も近場では体験できないので、楽しく参考になったと好評を博すほどでした。

企画協力していただいた大泉町観光協会では、ツアー造成当初、「大泉町の観光素材で誘客できるのか？」と自信のない様子でしたが、ポルトガル語の看板を連ね、本邦でも有数のブラジル人集住地区であることや外国気分を味わうことのできる土地柄を逆手にとって誘客してみてもいいか、と提言させていただいたところ、実際に来客するまで不安を抱かされていた大泉町観光協会も、初回ツアーの参加者アンケートに安堵されたのか、一転して、次はこうしたいなどと極めて積極的に生まれ、ブラジル人以外にも48カ国の外国人が集住する土地柄を利用され、今ではツアー開催に合わせて「活きた世界のグルメ横町」と題して、

世界のグルメ販売やイベントを開催されるまでになりました。

大泉町は、北関東工業地帯の一角を担っており、工場で働く外国人がほとんどで、そうした在住外国人の息抜きをしてもらおう意図からも「大泉カルナバル(サンバまつり)」などを毎年開催されていますが、大泉町観光協会では、今後、ブラジル人を中心にイベント開催していたものをさらに拡充し、大泉国際交流協会との連携も図り、何十カ国もの外国人の参加を得ながら、国際交流を介し、世界平和を提唱していきたいとの意気込みにまで考えを変えられています。

おわりに

こうしたことは、当協会が「はばたけ群馬観光博覧会」の事業展開と地域のコーディネートを行うことにより、地域振興と経済活性化、地域の元気創出を行うとともに、国際交流や国際協力という観点からも地元住民と在住外国人との優良な接点に寄与する、当協会活動の趣旨目的に合致した成功例です。

当協会では、県内他地域でも、海外からの観光交流や学校交流なども手掛けており、観光と国際交流・国際協力の連携をさらに図り、県内各地域の活性化と元気創出に尽力していく所存です。



ブラジル料理のシュラスコに舌鼓



ブラジル人サンバダンサーと記念撮影